

岩手県立大学鈴木学長を囲んでの ILC懇談会開催



鈴木学長を囲んでのILC懇談会の様子

市は、国際リニアコライダー（ILC）の研究内容やILC実現を見据えたまちづくりについて理解を深めるため、12月21日、一関保健センターを会場に、岩手県立大学学長（前高エネルギー加速器研究機構（KEK）機構長）の鈴木厚人氏を講師に招き「鈴木学長を囲んでのILC懇談会」を開催し、商工団体や研究機関、企業関係者ら71人が参加しました。

講演に先立ち、勝部修市長が「ILC実現に向けて、確実に大きな方向に踏み出している。地域として何をすべきか、皆さんと一緒にじっくり考え、取り組んでいきたい」とあいさつ。

その後「ILCを捕まえるよう」と題して行われた講演では「ILCの研究目的は素粒子の研究と同時に宇宙の誕生から終わりまでを説明すること」とした上で、ILC実現を見据えた今後のまちづくりの方針として「今ある施設や設備、衣食住環境を最大限活用し、不足部分を補うような取り組みを提案していく」などと語りました。

講演後の鈴木学長と参加者による懇談では、「ILC実現のために我々にできることは」「技術者などの人材育成はどのように対応していけばよいか」といった参加者からの質問に対し、鈴木学長は「ILC実現に向け、各自治体や団体がそれぞれ持っているアイデアを同じ方向に進むようにまとめながら、政府の誘致判断までに何をすべき

か東北全体で共有していくことが重要」と述べました。

参加者は、鈴木学長との懇談という貴重な機会に、真剣な表情で聞き入っていました。

いちのせき サイエンスカフェ開催 (第3回・第4回)

市では、ILCの研究内容や素粒子物理学をはじめとする科学について研究者などの専門家と気軽に語り合い、科学を身近に感じ、親しむことを目的に「いちのせきサイエンスカフェ」を開催しています。

今年度の第3回サイエンスカフェは、11月15日に東北大学大学院理学研究科准



参加者と意見交換を行う鈴木学長

Contents

- ◆鈴木学長を囲んでのILC懇談会開催
- ◆いちのせきサイエンスカフェ開催
- ◆地域でのILC普及啓発活動の様子
- ◆ニュースクリッピング
- ◆Ichinoseki Lives Cosmopolitan
- ◆教えてネイトさん！
- ◆お知らせ



佐貫准教授による講演

教授の佐貫智行氏を講師に招いて、一関図書館で開催しました。

当日は、市民を中心に30人が参加し、北上高地へのILC建設に向けて、現在行っている調査や、取り組みの内容について理解を深めました。

「北上サイトでのILC」

* ILCニュースの英語版を一関市国際リニアコライダー推進ホームページに掲載しています。

と題して行われた講演では「自然や景観は守られるのか、放射線対策は大丈夫か、といった心配の声もあるが、施設の設計にあたっては、大部分を地下に配置し、地上には必要最小限の施設のみを配置するなど、自然や景観に十分配慮して設計している。放射線対策は当然すべきで、モニタリングや遮蔽などの対策を考えている」と説明し、環境面や安全面には十分に配慮していることを説明。

また、北上高地がILCの国内建設候補地に選定された経緯や、現在進めている地質調査、物流ルートに関する調査の概要などを紹介しました。

講演後の意見交換では、ILCの環境面や安全面に



第3回サイエンスカフェの様子

関することや、ILCの研究成果の内容などに関する質問が多く寄せられ、佐貫氏の丁寧で分かりやすい回答に、参加者はメモを取ったりうなずいたりしながら真剣に聞き入り、ILCに対する理解を深めていました。



今年度最後となる第4回サイエンスカフェは、1月16日、一関図書館を会場に東北大学キャンパスデザイン室キャンパスデザイナーの小貫勅子氏を講師に招いて開催し、小学生をはじめとする幅広い年代から32人が参加しました。

「ILCを見据えたまちづくり」と題して行われた講演では、この地域の特徴として「自然や歴史を生かした観光資源が豊富」「駅周辺に病院、図書館、高校、商店街などの機能が集積しており、歩いて楽しいまちづくりを進めやすい素材が備わっている」「一関高専があることで、産学連携しやすい環境が整っており、技術者の養成、ILCと連携した教育がしやすい」などを魅力としてあげる一方



小貫氏による講演

で「外国人への対応、PRが不十分であり、観光資源をうまく活用しきれっていない」「地域交通の利便性が低い」といった課題も述べられました。

また、ILCの実現を見据えたまちづくりについては「まちづくりは様々な分野が関連しており、考えるのは難しいが、地域資源、技術、人を生かしながら、地域の暮らしやすさ、まちの魅力を考えていくことが必要」とした上で「自分たちの地域がどうなりたいかという具体的なまちづくりの将来像を描き、みんなが共有しながら実現に向けたスケジュールを立て、着実に進めることが大事」「一関でしかできない、人を惹きつけ、サステイナブル(持続可能)なまちづくりを考

えていただきたい」と参加者に語りかけていました。

参加者からは「地域の盛り上がり方がILC実現の後押しになると思う」「海外の方が一関に来た時、あたたかく受け入れることが大事では」「自分たちがこの地域をどうしていきたいのかという考えを持つことが大事では」など地域の将来について活発な意見が飛び交い、会場は期待と熱気に包まれていました。

聴講した勝部修市長は「ILCは長いスパンで行われる研究であり、それに耐えうるまちづくりを市民の皆さんと一緒にじっくり時間をかけて考えていかなければならない」「この地域には世界遺産平泉があり、ILCが実現すればもう一つ世界の財産ができることになる。これらを融合させて地域の発展につなげたい」と語りました。



勝部市長も参加

地域でのILC
普及啓発活動の様子
観光交流ネット千厩
いわいの里再発見ツアー

千厩町の観光ボランティア団体である観光交流ネット千厩(代表永澤由利氏)は、11月17日に、市の「地域おこし事業」を活用して「ILC実現を目指していわいの里再発見ツアー」を企画し、34人が参加しました。

一行は、東山町の三菱マテリアル(株)岩手工場の石灰石掘削現場や大東図書館内の「ILC学びツール」コーナー、大東町大原のILC建設候補地周辺などを見学。



ILCデザインのフラッグと共に出発
(写真提供:市内銅谷町 及川定一氏)

参加者は、ILCの建設候補地となっている北上高地の自然や地元の産業を学びながら、ILCへの理解を深めていきました。



大東図書館「ILC学びツール」コーナーを見学
(写真提供：市内銅谷町 及川定一氏)

大東町大住地区

ILC講演会

市では、ILCについて、市民の皆さんの理解を深め、ILC実現に向けた機運を醸成するため、自治会や各種団体等が行うILC講演会、勉強会に講師を派遣しています。

12月13日には、大東町沖田の大住ふれあいセンターで大住地区の住民を対象に、ILC講演会（発起人鈴木勝男氏）が開催され、小中学生を含む住民約40人が参加しました。

市の国際化推進員ネイト・ヒル氏と国際化推進サ



講演会に参加した大住地区の皆さん

ポーター2名が講師を務め、県で作製したILC紹介DVDを鑑賞した後、市の国際化に関する取り組みなどについて講演。参加者は、ILCの実現を見据え、地域の国際化に対する理解を深めていきました。

講演後は子どもたちと英語を使ったゲームで交流を深めたり、大住地区の皆さんが育てたそば粉を使ったそばを堪能したりするなど、ILCの早期実現に期待を込めていきました。



国際化推進員らと英語で交流

NEWS

ニュースクリッピング

最近の
ニュースを
ピックアップして
お届けします!

鈴木学長「ブレークスルー賞」受賞特別記念講演

開催日 2月8日 場所 盛岡市

岩手県立大学学長鈴木厚人氏の「基礎物理学ブレークスルー賞」受賞を記念した特別記念講演会（主催：岩手県国際リニアコライダー推進協議会（谷村邦久会長）他）が開催され、約420人が参加しました。

鈴木学長は「神岡の地でニュートリノを追う」としてILC」と題して講演を行い、自身が携わってきた「素粒子ニュートリノ」の研究の一端を披露するとともに、ILCの実現への意欲も示しました。

平成28年度政府予算案にILC計画関連8千万円計上

平成28年度政府予算案に、ILC計画関連として8千万円が計上されました。

内訳は、加速器技術の高性能化を図るための開発を行う経費として5千万円、国際プロジェクトの枠組みなどを調査する大型国際共同プロジェクトに関する調査費として3千万円となっています。

勝部市長が宮城県登米市職員に講話

開催日 1月14日 場所 宮城県登米市豊里公民館

一関市、宮城県登米市、栗原市の3市による県境を越えた広域連携の一環で、勝部修市長が登米市職員約120人に、ILC実現に向けた取り組み状況などを説明しました。

「イノベーション・経済波及効果調査委員会」が初会合

開催日 2月8日 場所 盛岡市

岩手県国際リニアコライダー推進協議会は、ILCの実現による本県の経済波及効果の算定を行うため「イノベーション・経済波及効果調査委員会」（委員長：鈴木厚人岩手県立大学学長、委員7人）の初会合を開きました。

ILCによる多面的な経済波及効果の算出が行われる予定です。

「いわて加速器関連産業研究会」 第2回「加速器関連産業参入セミナー」を開催

開催日 1月27日 場所 盛岡市

いわて加速器関連産業研究会（会長：藤代博之岩手大学工学部副学部長）が、第2回「加速器関連産業参入セミナー」を開催し、約120人が参加しました。

野村総合研究所の上席コンサルタント北村倫夫氏ら専門家5人が講演を行い、参加者は加速器関連産業参入へ意識を高めていました。

ILCに関する有識者会議 「人材の確保・育成方策検証作業部会」が初会合

開催日 11月18日 場所 文部科学省

文部科学省のILCに関する有識者会議は、新たに「人材の確保・育成方策検証作業部会」（座長：中野貴志大阪大学核物理研究センター長、委員11人）を設置し、初会合を開きました。

ILCの建設、運転に必要な研究者、技術者の人材確保、育成方策などについて、専門的見地から検討が行われる予定です。

Ichinoseki Lives Cosmopolitan



ジェニーさんとナイジェルさん

市ではILCの実現を見据え国際化を推進しています。ここでは、市内で活躍する国際人を紹介します。今回は、アメリカ出身のナイジェルさんとジェニーさん夫婦。ナイジェルさんは一関市に引っ越してきてまもなく1年。ジェニーさんは3年。2人とも市内の小中学校で外国語指導助手として英語を教えています。

Q: 趣味は？

A: 私たち結構本を読みますね。一番好きなジャンルは、SFやファンタジーですが、科学全般にも興味があります。量子物理学、人工知能、生物学と天文学には特に興味を持っています。

Q: 市内で特に好きな場所はある？

A: 蘭梅山が好き。頂上まで長い階段があって、途中で神社や像が沢山ある。山頂を歩いて回ると色々な角度から市街地が一望できる。運動になるし、市街地にある素敵な自然です。

Q: 子どもたちの英語教育に関して何かやってみたいことはありますか？

A: 機会があればもっとマルチメディアを授業に使いたい。パワーポイント、動画、物語、音楽、絵なども様々な生徒の学習に役立つと思います。

Q: 最後に、ILCの実現に向けて一言お願いします。

A: ILCに関わる科学にも興味があるが、実現した場合のそれに伴う可能性を考えてみると、わくわくする。そしてILCの実現によって多様性が増えると思う。現在の一関市も好きだが、市が発展していくには、新しい人材やアイデアが必要。ILCは市の発展に貢献出来ると思います。

English 教えてネイトさん!

今すぐ使える ネイトの英会話教室

Harry and Ken are chatting in front of the computer.

Harry: What's this website?

Ken: The Iwate Prefecture ILC Promotion Council redesigned their English page.

Harry: I see. What kind of info is on it?

Ken: It's full of ILC-related news and notices!

Harry: Great! ...what's the "Kitakami Times" written there?

Ken: That's a collaboration between the council, Iwate Prefecture, Oshu City and Ichinoseki City. Check it out!

(和訳)

ハリーさんと健さんがパソコンの前でしゃべっています。

ハリー: このホームページはなんだらう?

健: リニューアルした岩手県国際リニアコライダー推進協議会の英語版のホームページ。



ハリー: そっか。どんな情報が掲載されているの?

健: ILC関連のニュースやお知らせが満載!

ハリー: いいね!。。。中に「キタカミ・タイムズ」っていうのが書いてあるけど、それは?

健: それは協議会・岩手県・奥州市と一関市が連携して作っている情報紙。見てみてね!

お知らせ

◎ILCをもっと知ろう! ~勉強会・講演会への講師派遣~

市では、自治会や各種団体等が主催するILC勉強会、講演会に講師を派遣しています。

講師は、市職員のほか、高エネルギー加速器研究機構 (KEK) の研究者等の派遣についてのアドバイスも行っていますので、お気軽にご相談ください。



◎「一関市学会等開催補助金交付制度」を創設

市では、学会等を市内で開催し、参加者が市内への宿泊を伴う場合に、主催者に対して参加宿泊者数に応じた額を補助する「一関市学会等開催補助金交付制度」を創設しました。

詳細については、下記へお問い合わせいただくか、市のホームページで確認いただけます。

◎問い合わせ先

市ILC推進課

TEL: 0191-21-2111 (内線8646・8647)

E-mail: ilc@city.ichinoseki.iwate.jp

ILCニュース vol.16

いちのせきリニアコライダー通信

発行 岩手県一関市

編集 市長公室 | ILC推進課

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号

TEL 0191-21-2111 (内線8646・8647)

FAX 0191-21-2164

URL <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ilc/>

E-mail ilc@city.ichinoseki.iwate.jp

HP、SNSでILC情報を発信中!

専用のHP (ホームページ)、SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) を利用し、ILCの情報を発信しています。

パソコンやスマートフォンなどの携帯端末から手軽に利用できますのでぜひご覧ください。



◎一関市国際リニアコライダー推進ホームページ

一関市 ILC 検索